

10 健康づくり

◆ 健康手帳交付

健康診査及び医療受給の記録、その他の健康保持のために必要な事項を記載し、市民が自らの健康管理と適切な医療受給に役立てられるように、健康手帳を交付した。

区分	交付冊数	
	4 年度	5 年度
40 歳以上希望者	3	2

◆ 訪問指導

心身の状況、家庭環境等に照らして、保健指導が必要と認められる者に対して、心身の機能の低下防止と健康の保持増進を図ることを目的とした訪問指導を保健師等が行った。

実施主体	40 歳未満		40 歳以上 65 歳未満	
	実人数	延人数	実人数	延人数
地域保健課	—	—	1	1

注：65 歳以上は「3 高齢者保健福祉 ◆介護予防事業（1）訪問指導」参照

◆ 健康教育・健康相談

市民が生涯を通じて健康で暮らすことができるように生活習慣の改善等健康に関する正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自ら守る」という意識を高めるために各種の教育・相談を行った。

(1) 出前講座

自治区、自主サークル等地域で活動している人や、学校に対して、生活習慣病予防・健康づくりに関する講話を行った。

令和 2 年度から 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座は一部中止し、リーフレットの配布による啓発を行った。

《学校》実施者／保健師

テーマ	年度	元	2	3	4	5
生活リズムの大切さ	開催数	31	—	—	—	5
	参加人数	6, 579	—	—	—	1, 284

《自治区等》

実施者／保健師、健康づくりリーダー、ウォーキング指導員、インストラクター

内容（講座名）	年度	元	2	3	4	5
運動 「あなたのカラダ年齢は？」	開催数	1	—	—	—	—
	～39 歳	—	—	—	—	—
	40～64 歳	15	—	—	—	—
	65 歳～	—	—	—	—	—
	計	15	—	—	—	—
運動、認知症予防 「めざせ！ ナイスシニア」	開催数	33	3	6	8	15
	～39 歳	—	—	—	—	0
	40～64 歳	6	59	55	—	8
	65 歳～	869	—	85	216	302
	計	875	59	140	216	310
各種生活習慣病の予防、健康づくり 「知ろう！ 健康生活」	開催数	90	10	7	—	21
	～39 歳	31	—	—	—	3
	40～64 歳	122	180	126	—	49
	65 歳～	1, 827	—	23	—	528
	計	1, 980	180	149	—	580
その他	開催数	58	4	1	9	14
	～39 歳	240	—	—	126	87
	40～64 歳	770	65	—	67	64
	65 歳～	2, 029	—	23	137	349
	計	3, 039	65	23	330	500
計	開催数	182	17	14	17	50
	～39 歳	271	—	—	126	90
	40～64 歳	913	304	181	67	121
	65 歳～	4, 725	—	131	353	1, 179
	合計	5, 909	304	312	546	1, 390

(2) 健康相談

市民が健康について気軽に相談できるように、来所又は電話による健康相談窓口を開設している。また、交流館や学校などが開催するイベント等に出向き健康相談を実施した。

令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等における相談については一部中止とした。

内 容／体組成チェック・血圧測定・血管年齢測定などの実施、生活習慣病予防、健康不安等に対する助言、保健指導

年度	元		2		3		4		5	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
来所・電話相談	44	44	75	75	69	69	62	62	57	57
イベント等における 相談	212	5, 777	—	—	1	28	2	31	48	2, 007

◆ 健康診査

豊田市国民健康保険加入者(40 歳以上満 74 歳以下)を対象として、生活習慣病の早期発見により生活習慣の改善を図るためメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施した。また、後期高齢者医療制度被保険者に対しては、後期高齢者医療健康診査を実施した。

(1) 特定健康診査

対象	40 歳以上満 74 歳以下の豊田市国民健康保険に加入している市民	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等一定の基準に達し、かつ医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	4	5
受診者数(人)	21,220	18,706
受診率(%)	36.2	34.3
動機付け支援該当者数(人)	1,684	1,465
積極的支援該当者数(人)	356	309

注：国庫負担金実績報告時数値に基づく

(2) 特定健康診査受診勧奨

特定健康診査の受診率向上を図るため、はがきによる受診勧奨を実施した。

対 象 者	① 過去の受診状況、検査値、問診項目等を分析し、受診が期待できる人 ② 令和 5 年 4 月～7 月に国保に加入した 40～63 歳の健診未受診者 ③ ②以外の 40 歳代の健診未受診者				
内 容	受診のパターンに分類したはがきを作成して送付				
発送時期	① 5 月末 ② 7 月～10 月 ③ 10 月中旬				
実施状況	対象者		実発送者数	受診者数	受診率
	①	過去 5 年間に連続受診でなく、昨年度受診者	4,367	2,194	50.2%
		過去 5 年間に連続受診でなく、昨年度未受診者	2,544	982	38.6%
		過去 3 年間に受診歴がない人	9,778	1,032	10.6%
		計	16,689	4,208	25.2%
	②	新規国保加入者	1,200	54	4.5%
	③	若者向け受診勧奨者	5,196	431	8.3%

(3) 後期高齢者医療健康診査

対象	後期高齢者医療制度被保険者の市民(概ね 75 歳以上)	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等一定の基準に達し、かつ医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	4	5
受診者数(人)	16,606	17,746
受診率(%)	32.8	33.1

(4) いきいき健診

対象	生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付制度該当者(40 歳以上)	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査等	
年度	4	5
受診者数(人)	73	59
受診率(%)	4.1	3.4

◆ がん検診等

健康増進法に基づき、がんを早期発見し、早期に治療に結びつけるため、医療機関にて各がん検診を実施した。要精密検査者の未受診調査を徹底し、受診勧奨を行った。

注：受診者数、要精密検査者数、要精密検査受診者数は、各表の時点で市が把握した情報で作成

がん検診受診者数と受診率の推移

令和 6 年 4 月 12 日時点

検診名	受診者数			受診率(%) 1)			国の統計 2)	
	3 年度	4 年度	5 年度	3 年度	4 年度	5 年度	受診数	受診率
胃がん	15,788	15,534	14,903	8.4	9.0	8.8	5,675	8.8
大腸がん	24,364	24,506	24,102	9.2	9.2	9.0	9,581	5.9
子宮頸がん	8,055	7,592	7,675	9.1	9.5	9.3	5,742	9.5
乳がん	9,299	8,976	8,901	11.9	12.7	12.4	3,500	8.8
肺がん	19,802	19,857	20,198	8.3	8.2	8.4	6,231	3.8
前立腺がん	4,901	5,015	4,663	9.0	9.2	8.4	—	—

注 1) 各年度の 4 月 1 日現在人口を対象者とする

胃がん・子宮頸がん・乳がんは（前年受診者数＋当年受診者数－連続受診者数）／人口

2) 地域保健報告に計上するもの。40～69 歳（胃がんは 50～69 歳、子宮頸がんは 20～69 歳、乳がんはマンモグラフィ検査のみ）を対象としている

令和 4 年度がん検診等のまとめ

令和 6 年 3 月 18 日時点

検診名	受診者数	要精検者数	要精検者率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がんの診断	がん発見率(%)	陽性反応的中度(%)	精検結果未把握数
胃がん	15,534	1,218	7.84	1,064	87.35	36	0.23	2.96	154
大腸がん	24,506	1,768	7.21	1,341	75.85	58	0.24	3.28	427
子宮頸がん	7,592	129	1.7	94	72.87	1	0.01	0.78	35
乳がん	8,976	284	3.16	272	95.77	32	0.36	11.27	12
肺がん	19,857	339	1.71	299	88.2	12	0.06	3.54	40
前立腺がん	5,015	250	4.99	137	54.8	19	0.38	7.6	113
肝炎	2,630	—	—	—	—	—	—	—	—

注：肺がん検診要精検は、胸部 X 線判定 E、又は喀痰検査判定 D・E に該当するもの

(1) 胃がん検診

対象		35 歳以上の市民			
検査内容		問診、胃部エックス線直接撮影または胃内視鏡検査、二重読影			
年度		4		5	
区分		受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
胃部 X 線	男	5,278	465	4,795	353
	女	6,014	278	5,423	210
内視鏡	男	2,004	277	2,228	249
	女	2,238	198	2,457	196
合計		15,534	1,218	14,903	1,008

注：総合がん検診受診者数含む

(2) 大腸がん検診

対象	35 歳以上の市民			
検査内容	問診、免疫便潜血検査(2 日法)			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者
男	10, 913	970	10, 645	953
女	13, 593	798	13, 457	798
合計	24, 506	1, 768	24, 102	1, 751

注：総合がん検診受診者数含む

(3) 子宮頸がん検診

対象	20 歳以上で偶数年齢、21 歳の女性			
検査方法	問診、視診、内診、細胞診、コルポスコープ(医師が必要と認めた場合)			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	7, 592	129	7, 675	189

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

(4) 乳がん検診

対象	30 歳以上で偶数年齢、41 歳の女性			
検査方法	問診、超音波検査またはマンモグラフィー検査(二重読影)			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
超音波検査	4, 072	72	3, 830	74
マンモグラフィー検査	4, 904	212	5, 071	204
合計	8, 976	284	8, 901	278

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

(5) 肺がん検診

対象	40 歳以上の市民			
検査方法	問診、胸部 X 線直接撮影、二重読影、喀痰細胞診			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
男	9, 623	358	9, 745	375
女	10, 234	342	10, 453	353
合計	19, 857	700	20, 198	728

注：総合がん検診受診者数含む

(6) 前立腺がん検診

対象	50 歳～70 歳の市民(男性)			
検査方法	問診、P S A 検査(血液検査)			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	5, 015	250	4, 663	246

注：総合がん検診受診者数含む

(7) 胸部エックス線検査

対象	40 歳以上の市民			
検査内容	胸部 X 線直接撮影(正面)			
年度	4		5	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
男	8, 277	250	7, 736	243
女	12, 602	351	11, 955	327
合計	20, 879	601	19, 691	570

(8) 肝炎検診

対象	40 歳以上 5 歳刻みで過去に豊田市の肝炎検診を受けたことがない市民
検査内容	問診、B 型肝炎ウイルス検査(H B s 抗原検査)、C 型肝炎ウイルス検査(H C V 抗体検査、H C V 核酸増幅検査) H C V 核酸増幅検査は、H C V 抗体検査で中力価・低力価と判定された者のみ実施

B 型肝炎検診受診者

年度	4			5		
区分	受診者数	陽性	陰性	受診者数	陽性	陰性
男	1, 128	11	1, 117	1, 201	8	1, 193
女	1, 335	8	1, 327	1, 233	6	1, 227
合計	2, 463	19	2, 444	2, 434	14	2, 420

C 型肝炎検診受診者

		受診者数	感染している可能性が高い		感染している可能性が低い	
			判定①	判定②	判定③	判定④
令和 4 年度	男	1, 128	3	1	11	1, 113
	女	1, 335	2	0	14	1, 227
	合計	2, 463	5	1	25	2, 432
令和 5 年度	男	1, 201	3	1	4	1, 193
	女	1, 233	1	1	5	1, 226
	合計	2, 434	4	2	9	2, 419

注：C 型肝炎判定区分の説明

判定①／H C V 抗体検査「高力価」

判定②／H C V 抗体検査「中・低力価」、H C V 核酸増幅検査「陽性」

判定③／H C V 抗体検査「中・低力価」、H C V 核酸増幅検査「陰性」

判定④／H C V 抗体検査「陰性」

(9) 総合がん検診(再掲)

40 歳、50 歳、60 歳の節目において、各がん検診をまとめて受診できるよう総合がん検診を実施した。

対象	40 歳、50 歳、60 歳の市民			
検診内容	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診(女性のみ)、乳がん検診(女性のみ)、骨塩定量検査(女性のみ)、前立腺がん検診(50 歳、60 歳の男性のみ)、肝炎検診(過去に受診歴のない希望者)、脳ドック(50 歳の希望者)			
	40 歳検診	50 歳検診	60 歳検診	合計
男	34	76	71	181
女	111	186	164	461
合計	145	262	235	642

(10) 脳ドック(総合がん検診と同時実施)

総合がん検診において、50歳の希望者に脳ドックを実施した。

対象		50歳の市民		
検査方法		問診、MRI検査、MRA検査		
区分		総合がん検診受診者数	脳ドック受診者数	受診率(%)
50歳	男	76	41	53.9
	女	186	93	50.0
合計		262	134	51.1

(11) がん検診推進事業(再掲)

特定の年齢を対象に、子宮頸がん検診、乳がん検診が無料となるクーポン券と検診手帳を配布し、がん検診の受診促進を実施した。

対象	子宮頸がん検診	21歳の女性		
	乳がん検診	41歳の女性		
期間		6月1日～3月19日		
検査場所		市内の協力医療機関		
区分		受診者数	要精検者	
子宮頸がん検診		147	13	
乳がん検診		416	37	

◆ 女性の健康づくり

健診を受診する機会のない女性を対象に、検診と必要に応じた保健指導を行い、健康管理に関する正しい知識の普及と健康づくりの推進を図った。

(1) レディース検診

対象者	当該年度中に19～39歳になる女性		
日程	第1、3火曜日(全24回)		
検査内容	身長、体重、聴打診、血圧測定、尿検査、骨密度検査(二重DEXA法)、血液検査(総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、貧血)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	40名/回		
年度	3	4	5
受診者数	120	134	143

(2) 骨粗しょう症検診

対象者	当該年度中に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳になる女性		
日程	第1、3木曜日(全24回)		
検査内容	問診、骨密度検査(二重DEXA法)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	20名/回		
年度	3	4	5
受診者数	161	217	210
うち負担金免除受診者数	13	20	17

◆ 特定保健指導

(1) あなたのための健康教室

豊田市特定健康診査を受診した者に対して、指導レベル別に特定保健指導を実施した。

内容		メタボリックシンドローム・栄養・運動・喫煙に関すること					
場所		市役所・支所・交流館・高岡農村環境改善センター等					
年度	区分	対象者数 (健診受診時に 国保加入者)	初回実施者数 (初回実施時に 国保加入者)	実施率(%) (初回実施者/ 対象者)	終了者数	終了率(%)	
						終了者/ 初回実施者	終了者/対象者
4	積極的支援	359	40	11.1	34	85	9.5
	動機付け支援	1,696	348	20.5	331	95.1	19.5
	合計	2,055	388	18.9	365	94.1	17.8
5	積極的支援	308	28	9.1			
	動機付け支援	1,428	269	18.8			
	合計	1,736	297	17.1			

(2) 健康体験会(特定保健指導受講勧奨事業)

特定保健指導対象者に、特定保健指導利用率向上を目的として、体力測定の結果に応じた運動の提案やバランス食の体験等により、生活習慣の改善の取組を継続的に実施できるよう働きかけた。

対象者	特定保健指導初回指導に該当する者
講師	健康運動指導士、保健師、管理栄養士等
場所	あいち健康プラザ
内容	体力測定、バランスのとれた食事の体験や講話等
教室開催数	2回
参加実人数	13名

(3) 重症化予防事業

ア. 糖尿病重症化予防事業

特定健康診査受診者のうち、糖尿病検査値等が高めで重症化するリスクが高くなることが予測される医療機関未受診者及び受診中断者に対して受診勧奨を実施した。

(令和6年3月末時点)

対 象	令和4年度豊田市国民健康保険特定健康診査受診者のうち、次に掲げる条件を満たす人
	(1) 特定健康診査の結果がア～ウのいずれかに該当する人 ア HbA1c 7.0%以上 イ 「HbA1c 6.5%以上 7%未満」かつ「eGFR45ml/min/1.73m ² 未満または尿蛋白(+)以上」 ウ 「HbA1c 6.5%未満かつ空腹時血糖 126mg/dl 以上(随時血糖 200mg/dl 以上)」かつ「eGFR45ml/min/1.73m ² 未満または尿蛋白(+)以上」 (2) 特定健康診査を受診した年度内に糖尿病の治療がない人
内 容	特定健康診査結果の説明、医療機関への受診勧奨、生活習慣改善に向けた保健指導

実施状況

1 特定保健指導対象者(手紙による受診勧奨)

	対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込者数
人数	43	15	18	3

2 特定保健指導非対象者

	訪問	面接	電話	手紙	計
人数	—	—	16	24	40

注：令和4年度健診受診者から対象者を抽出

イ. 高血圧重症化予防事業

特定健康診査受診者のうち、血圧値が受診勧奨判定値を超えており、重症化するリスクの高い医療機関未受診者に対して受診勧奨を実施した。

(令和6年3月末時点)

対象	令和4年度の特定健康診査結果において特定保健指導の対象者で以下の値に該当する人 (1) 収縮期血圧 140mmHg 以上 160mmHg 未満又は拡張期血圧 90mmHg 以上 100 mmHg 未満 (2) 収縮期血圧 160mmHg 以上又は拡張期血圧 100mmHg 以上				
内容	医療機関への受診勧奨、血圧に関する啓発資料配布、受診状況調査				
実施状況	手紙による受診勧奨を実施				
		対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込数
	人数	673	352	152	20
	注：令和4年度健診受診者から対象者を抽出				

(4) 「生活習慣病予防教室」

特定健康診査の結果において特定保健指導の対象とならないが、血液検査等リスク項目がある者を対象に、講義や実技を通して自己の健康問題に対して自主的に取り組めるように支援し、生活習慣病を予防することを目指す。

対象	前年度の特定健康診査結果において、特定保健指導レベルが「情報提供」に該当し、年齢が70歳以下で、血圧、脂質、血糖、尿たんぱく等の値が正常範囲を超えている人。(年齢については、令和6年4月1日時点) ただし、特定健康診査の問診で、「血圧」「脂質」「血糖」の内服をしている人または、「脳卒中」「心臓病」「腎臓病」の治療を受けている人は除く。
教室開催形態	2コース開催
内容	(1)教室前後評価 生活習慣病に関する問診、血圧測定、尿定性検査、身体計測(身長、体重) 血液検査(中性脂肪、HDL、LDL、血糖値、HbA1c)、内臓脂肪測定 (2)体力測定 全身持久力測定、筋力測定、柔軟性、敏捷性、平衡性 等 (3)講義及び実技 医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士による講義及び実技

◆ 栄養改善

健康増進法等に基づき各種栄養改善事業を実施した。

また、「健康づくり豊田21計画（第三次）」の栄養・食生活分野の取組を推進するため、市民の健康の維持増進に努めた。

(1) 栄養相談

市民の栄養、食生活に関する相談に応じた。

栄養相談件数(令和5年度)：来所…3件、電話…7件

相談内容別内訳(延べ件数)

重点健康相談					総合健康相談
脂質異常症	糖尿病	歯周疾患	骨粗しょう症	その他病態	
—	2	—	—	2	6

(2) 地区組織の育成、指導(栄養士連絡会)

市内在勤、在住の栄養士で構成する栄養士連絡会の会員を対象に研修会等を開催し、栄養士相互の連絡調整や資質向上を図った。より有意義な会として位置づける為、会員のニーズにあった研修会を実施し、参加者の増加に努めた。

	回数	参加者数	内容
研修会	5	137	講演会4回、事例発表会1回
役員会	6	42	企画、協議、事業計画、連絡調整

(3) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき、特定給食施設事業実施状況報告書の提出を求め、給食内容や栄養士の配置状況などを把握し指導等を実施した。

ア. 状況調査(総計:219施設)

	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士どちら もない施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数	
学校	9	9	5	30	13	1	1	1
病院	5	15	11	65	29	—	—	—
介護老人保健施設	4	11	4	13	4	—	—	—
介護医療院	—	—	—	—	—	—	—	1
老人保健施設	12	21	8	11	11	1	1	—
児童福祉施設	3	8	2	3	2	—	—	—
社会福祉施設	4	6	1	1	2	1	1	2
事業所	59	63	9	11	9	17	18	33
寄宿舍	9	9	1	1	1	3	3	10
矯正施設	—	—	—	—	—	—	—	1
一般給食センター	—	—	1	1	3	—	—	—
計	105	142	42	136	74	23	24	48

イ. 指導施設数

10施設(病院…1、福祉…2、事業所…6、学校…1、寄宿舍…1)

(4) 食品表示法（保健事項）、健康増進法第 65 条第 1 項等指導・相談

被疑食品に関する指導、相談、収去

	指導	相談	収去
栄養表示基準	5	62	—
誇大広告	1	—	—

(5) 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、月見町の一部 18 世帯 44 名を対象として、身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査を実施した。

	対象者数	実施数	実施率
世帯数	18	5	27.7
身長・体重測定（満 1 歳以上）	44	8	18.1
1 日の歩行数（満 20 歳以上）	34	9	26.4
血液検査（満 20 歳以上）	34	3	8.8
栄養摂取状況調査（満 1 歳以上）	44	12	27.2
生活習慣調査（満 20 歳以上）	34	11	32.3

◆ 歯科保健（8020 推進事業）

健康増進法等に基づき各種歯科保健事業（教育・相談・健診）を実施した。

また、「健康づくり豊田 21 計画（第三次）」の歯の健康分野の取組及び「豊田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の施行に伴い作成された「8020（ハチマルニイマル）市民運動」を推進するため、歯科保健関係団体（歯科医師会・歯科衛生士会・豊田市健康づくり協議会等）と連携し歯科疾患の予防や歯・口腔の健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。

(1) 来所・電話相談

市民が歯の健康について気軽に相談できるように、来所又は電話による歯科相談窓口を開設している。相談者のライフスタイルや QOL に配慮した相談を行うために、積極的に情報収集に努める必要がある。

日時：随時、来所（要予約）

内訳：来所…1 件、電話…2 件

(2) 歯の健康教育

ア. よい子の歯みがき運動啓発事業

6 歳臼歯の保護育成を目的とし、市内のこども園（私立幼稚園含む）の 4 歳児及び 5 歳児を対象に普及啓発活動を展開した。また、各園で啓発が実施できるよう視覚教材等の貸し出しを行った。

・啓発配布資料

4 歳児「歯みがきカレンダー（両面）」…3,005 部

5 歳児「歯みがきカレンダー（両面）」…3,292 部

5 歳児保護者「家庭でできるむし歯予防」…3,292 部

・視覚教材等貸出

DVD（園児歯科健康教育動画「自分で守ろう！自分の歯！」） 貸出件数：4件

紙芝居、エプロンシアター 貸出件数：33件

イ. 口腔機能向上支援事業（お口の健康教室）

高齢者が口腔機能を維持・向上し、いつまでも自立した豊かな生活を送ることができるよう、自治区、自主グループ、地域ふれあいサロン等を対象にオーラルフレイルに関する講話と比較的簡単にできる口腔機能に関する訓練や体操を指導する教室を開催している。

対象	高齢者					
内容	歯科衛生士による口腔機能向上に関する講話と実技指導（顔面体操、唾液腺マッサージ、飲み込みテストなど）					
年度	3		4		5	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
合計	11	135	25	260	13	197

ウ. 親子ピカピカ教室（むし歯予防教室）

子育て支援施設と共催または地域からの依頼により、むし歯の増加する時期に親子で歯について関心を持ち、生活習慣とのかかわりを認識して歯みがきの習慣化の必要性についての教室を開催している。

対象	未就園児					
内容	講話（むし歯予防、フッ素、噛むことについて）、相談、質疑応答					
年度	3		4		5	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
交流館	—	—	—	—	—	—
子育て支援施設	19	393	38	636	39	739
自主グループ（地域、団体等）	—	—	1	15	3	59
合計	19	393	39	651	42	798

エ. 歯っぴかフェスタ

歯と口の健康週間事業として、市民に歯と口の健康づくりに関する正しい知識啓発に努めた。

開催日	令和5年6月4日（日）午前10時～午後2時
会場	とよた子育て総合支援センター 多目的ホール
来場者数	183人
内容	（１）こどものフッ素塗布体験 ・ 歯科医師による口腔内チェック、歯科相談 ・ 歯科衛生士による歯みがき指導、フッ化物配合歯磨剤の紹介、フッ化物歯面塗布 （２）糸ようじ体験 ・ 歯科衛生士によるデンタルフロスの使用方法指導

オ. その他健康教育

交流館、学校、自主サークル等地域で活動している人に対して、8020（ハチマルニイマル）を推進していくために歯や口の健康に関する講話及び実技指導を実施している。

年度	3		4		5	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
交流館	—	—	—	—	—	—
園、学校(小、中、高校等)	—	—	1	62	—	—
自主サークル(地域、団体等)	2	44	2	24	5	61
合計	2	44	3	86	5	61

カ. いい歯の日キャンペーン

「自分で守ろう！自分の歯！」をスローガンに掲げ、11月8日を目途に市内の事業所等に啓発品を設置し、歯みがきの大切さと8020（ハチマルニイマル）に関する正しい知識の普及啓発をした。

	項目	期間	詳細
1	ポスター掲示 「おくちとからだはつながっている」	11月8日～11月30日	市内施設 435 か所に掲示
2	啓発チラシ配布		配布数：2,742部
3	啓発物配布		配布数：4,199個

(3) 歯科健康診査

ア. 成人歯科健診

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳を機に歯の健康状態のチェックを受け、歯の健康についての知識を高めてもらうため、医療機関個別方式で健診が受けられる受診券を送付した。

個人負担金	無料		
対象者	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳		
年度	3	4	5
20歳	160	145	141
25歳	250	225	229
30歳	318	254	297
35歳	196	151	181
40歳	138	177	207
45歳	147	128	129
50歳	216	210	203
55歳	99	171	172
60歳	129	174	178
65歳	218	195	243
70歳	252	257	250
75歳	165	242	255
合計	2,288	2,329	2,485

イ. 妊産婦歯科健診

生理的变化に伴い歯周疾患が急増する妊産婦に対して、口腔疾患の予防と早期発見に努め、胎児を健全に发育させるために、医療機関個別方式で健診が受けられる受診票を母子健康手帳交付時に配布した。

個人負担金	無料		
対象者	妊婦、産婦(産後1年未満)		
年度	3	4	5
妊婦	1,313	1,206	1,114
産婦	797	721	663
合計	2,110	1,927	1,777

ウ. 幼児歯科健診

う歯の保有者率が大きく増加する時期に、むし歯予防に関する意識の啓発を図り、生活環境、口腔状態に応じた個別口腔ケア指導を実施することが有効である。医療機関個別方式で、健診が受けられる受診券について、1歳6か月児健診で幼児歯科健診受診券①、3歳児健診で受診券②③を配布した。

個人負担金	無料		
対象者	1歳6か月～2歳児…受診券①、3歳児…受診券②、4歳児…受診券③		
年度	3	4	5
受診券①	1,087	932	733
受診券②	461	467	393
受診券③	331	364	322
合計	1,879	1,763	1,448

(4) 豊田市障がい者歯科事業

障がい者の歯科疾患予防及び疾患の早期発見を図ることを目的として、施設利用者の歯科健康診査及び施設職員に対して障がい者の口腔ケアに関する予防指導を実施した。

(年度末現在)

年度等	3		4		5	
	施設数	実施者(人)	施設数	実施者(人)	施設数	実施者(人)
歯科健康診査 (通所施設)	12	249	13	247	13	293
訪問予防指導 (入・通所施設)	1	10	4	57	4	40

(5) 豊田市歯科口腔保健支援センター事業

歯科口腔保健支援センターの業務の一環として、市民の歯と口腔の健康づくりの推進を図るため、歯科医療及び歯科保健関係者の資質向上を目的に研修会を行った。

日程	形態・タイトル・講師	実績
2月5日～3月5日	開催形式：オンデマンド限定配信 タイトルフッ化物洗口と健康格差 ～なぜフッ化物が必要なのか？最新知見を知ろう～講 師：東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科健康推進歯学分野 教授 相田 潤 氏	視聴回数 第1部 205回 第2部 133回

◆ 健康づくり豊田21計画（第三次）推進事業

(1) 小、中学生健康教育資料配布

生活リズム（睡眠）・喫煙防止・飲酒防止について、パンフレットを作成し、小中学校へ配布した。

内容		対象	部数
生活リズム（睡眠） 「好調な小学校生活をスタートさせるために」		令和5年度小学1年生保護者	3,721
生活リズム（睡眠） 「ねる子は育つって本当？」	小学生用	小学3年生	3,890
	中学生用	中学1年生	4,032
喫煙防止 「たばこってなあに？」	小学生用	小学6年生	3,932
	中学生用	中学2年生	4,192
飲酒防止 「アルコールってなあに？」	小学生用	小学6年生	3,932
	中学生用	中学3年生	4,142
飲酒防止 「子どもをアルコールから守りましょう」		小学6年生保護者	3,932
		中学3年生保護者	4,142

(2) ウオーキング地区支援事業

ア. ウオーキング地区支援事業

まちぐるみで行うウオーキングの促進を図るために、イベント企画の手引き「てくてく虎の巻」を作成し、ウオーキングイベントで使用する啓発物品の配布やグッズの貸し出しを行った。

主体分類	実施 件数	参 加 者数	啓発物 配布数	貸出グッズ（貸出数）						
				のぼり	机	拡声器	手旗	ビブス	歩数計	スタンプ
自治区	19	3,538	3,437	39	0	1	21	32	50	6
コミュニティ会議	9	991	902	18	1	0	20	18	0	0
ヘルサポ	1	27	17	0	0	0	0	0	0	0
高齢者クラブ	1	61	61	1	0	1	3	0	0	0
その他	1	350	290	3	0	1	0	0	0	0
合計	31	4,967	4,707	61	1	3	44	50	50	6

イ. ウオーキングコース整備事業

市民の自発的な健康づくりの動機づけと実践の支援のために、既存のウオーキングコースの整備及び啓発を行った。

(3) とよた健康マイレージ事業

ア. とよた健康マイレージ

愛知県との協働事業で、食事や運動などの健康づくり目標を、周りの人（サポーター）に応援してもらいながら、90日間取り組み、定着することを目的に実施した。

取組者数：1,945人

イ. あいち健康づくり応援カード～MyCa～（優待カード）交付

とよた健康マイレージ事業の取組達成者に、年度に1回、愛知県内の協力店で使用できる優待カードを交付した。

優待カード交付数：269枚

◆ きらきらウエルネス地域推進事業

中学校区ごとの地域特性に応じた健康づくりを地域主体で推進することにより、地域全体の健康水準の向上を目的とし、以下の事業を実施した。

(1) 健康づくり意見交換会

地域住民と共に、きらきらウエルネス地域推進事業に基づく地区の健康づくり計画の策定を目的とした意見交換会等を実施した。

年度	地域	内容	実施回数	参加人数 (延べ)	共催
元	高橋	意見交換会	2	65	コミュニティ会議
		計画策定	5	51	コミュニティ会議
	猿投	講演・意見交換会	2	133	コミュニティ会議
		計画策定	3	45	コミュニティ会議
	逢妻	意見交換会	2	64	コミュニティ会議
		計画策定	3	24	コミュニティ会議
	小原	計画策定	4	44	計画策定委員会
	豊南	計画策定	1	3	コミュニティ会議
2	益富	計画策定	2	11	コミュニティ会議
	足助	計画策定	9	146	高齢者課題等情報交換会（地域会議：足助地域会議ビジョン分科会） 足助地区子育て情報交換会
	下山	計画策定	10	115	下山地区まちづくり協議会 子育てに関する意見交換会
	旭	計画策定	8	124	持続可能なまちづくり協議会 地域会議
3	梅坪台	計画策定	12	198	地域会議：8回…13人
	井郷	計画作成の意見聴取	10	55	計画作成委員会（10月、12月）
	井郷	計画策定	2	10	Iプラン推進会議第1部会
4	稲武	計画策定	2	15	
5	保見	意見交換会	1	20	地域会議

地区の健康づくり計画に基づく健康づくり事業実施（事業数／参加人数（実・延べ））

年度 地域	3			4			5		
	事業数	参加人数		事業数	参加人数		事業数	参加人数	
		実	延べ		実	延べ		実	延べ
松平	24	172	3,792	34	1,297	4,810	57	2,111	7,950
藤岡	4	68	1,140	8	165	643	12	191	618
美里	78	2,737	41,989	81	2,127	47,368	66	1,617	36,040
若園	5	165	1,365	7	556	1,724	6	204	1,139
猿投台	29	1,187	7,566	24	862	5,007	65	929	8,550
崇化館	2	51	51	13	196	1,334	18	294	2,543
竜神	8	142	1,278	12	256	1,562	12	249	2,273
上郷	11	232	2,528	10	83	740	12	296	2,821
藤岡南	3	65	65	4	147	281	4	60	271
浄水	16	412	1,0609	31	1,874	15,967	26	1,042	18,339
石野	12	204	360	15	357	1,048	21	536	1,475
高橋	37	732	7,524	45	1,719	8,652	51	1,869	10,256
猿投	5	80	713	9	174	800	8	208	608
逢妻	11	897	5,295	27	1,828	26,768	32	1,459	12,833
小原	14	161	1,815	18	200	2,123	26	657	1,640
豊南	20	317	3,700	36	947	4,618	41	1,688	13,470
益富	30	2,483	11,618	30	2,465	11,311	37	4,623	14,797
足助	14	177	1,657	15	247	2,171	20	681	1,618
下山	5	50	50	26	31	47	34	505	3,985
旭	8	87	782	22	67	181	31	277	1,765
井郷	—	—	—	60	1,980	27,589	22	72	641
梅坪台	—	—	—	—	—	—	22	811	4,508
稲武	—	—	—	—	—	—	20	270	1,720
合計	336	1,0419	103,897	527	17,578	164,744	643	20,649	149,860

(2) 地域診断検討会

各課が保有するデータから地域の健康課題を共有し、その原因や背景を明確にすることにより、科学的根拠に基づいた保健事業の推進や連携を図ることを目的に開催する。

年度	開催日	内容	出席	参加人数（延べ）
元	9月19日	(1)健康関連データ・健康課題の共有 (2)市民に伝わる健康課題ストーリーの検討、必要データの選定 (3)運用方法	6課	11
	10月30日	(1)啓発媒体(案)の検討、掲載データの確認 (2)啓発行動ポイント及び紹介事業の選定 (3)運用方法	6課	11
2	3月15日	(1)健康関連データ・健康課題の共有 (2)健康課題の啓発について協議	11課	19
3	※新型コロナウイルスの影響により、未開催		—	—
4	※新型コロナウイルスの影響により、未開催		—	—
5	つながる社会実証推進協議会を活用した健康課題抽出及び分析の実施		4回	27

(3) 健康づくり推進事業補助金

地区コミュニティ会議(健康づくり部会等)が実施する健康づくり推進事業に補助金を交付することで、コミュニティ活動の活性化と健康づくりに取り組む地域住民の増加を図ることを目的とする。

年度	地区数	地区名
元	13	逢妻、梅坪台、浄水、美里、松平、足助、稲武、上郷、末野原、前林、若園、井郷、藤岡南
2	2	浄水、前林
3	4	逢妻、浄水、松平、前林
4	9	松平、逢妻、美里、浄水、旭、前林、若園、上郷、稲武
5	8	松平、前林、浄水、旭、逢妻、稲武、若園、上郷

◆ ヘルスサポートリーダー養成事業

(1) ヘルスサポートリーダー養成講座

主に地域の健康づくりに関わるボランティアを養成するために、栄養・運動・生活習慣病予防等に関する知識や技術を習得するための講座を開催した。

年度	修了者数	1コースあたりの回数	コース数	会場
元	44	4	1	スカイホール豊田
2	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
3	23	3	3	井郷交流館
4	27	2	2	高岡コミュニティセンター・井郷交流館
5	24	2	2	高岡コミュニティセンター・井郷交流館

(2) ヘルスサポートリーダースキルアップ事業

ヘルスサポートリーダーが、地域の健康づくりを推進するために必要な知識や技術を習得できるよう研修会等を行った。

ア. スキルアップ研修

日程	研修内容	講師	会場	参加人数
5月18日	元気アップ教室の基本、元気アップ体操実践	理学療法士	朝日丘交流館	75
6月22日	フレイルについて	医師	福祉センター	72
7月19日	フレイルを予防する食事について	管理栄養士	福祉センター	80
延べ参加人数				227

イ. 出前育成研修

令和５年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

ウ. ブロック研修

令和５年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

(3) ヘルスサポートリーダーが行う健康講座

「健康づくり豊田２１（第三次）」計画を推進するため、「ベジタブル&トレーニングとよたプラス１０」を推進する健康づくり講座を企画、その他地域が主催する講座、地域介護予防活動支援事業等に向いてミニ講話等を実施した。

地区	実施回数	参加実人数	内訳（延）															
			プラス 10		栄養		野菜 350g		運動		健診 PR		フレイル		心の健康づくり		健康チェック	
			回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
崇化館	4	146	2	62	0	0	0	0	1	20	1	43	1	41	0	0	3	126
朝日丘	18	466	2	197	1	16	3	221	6	68	1	184	0	0	0	0	12	1,012
逢妻	7	296	2	80	0	0	2	86	2	108	3	83	3	73	0	0	6	471
梅坪台	8	241	1	35	2	23	0	0	1	35	1	130	1	7	0	0	6	138
浄水	10	599	2	105	7	99	1	92	7	480	1	92	1	92	0	0	1	184
高橋	10	677	0	0	0	0	1	154	9	523	0	0	0	0	0	0	2	600
美里	12	502	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	52	0	0	12	1,467
益富	3	263	0	0	0	0	0	0	1	100	0	0	0	0	1	80	1	332
上郷	3	115	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	0	0	3	292
豊南	6	384	0	0	0	0	2	271	1	16	1	23	1	37	0	0	3	277
末野原	10	315	0	0	0	0	0	0	7	140	0	0	0	0	0	0	9	608
若林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
竜神	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
若園	4	163	0	0	0	0	1	15	2	46	1	11	0	0	0	0	2	545
前林	5	324	2	235	1	135	3	294	1	59	3	264	0	0	0	0	3	634
猿投台	29	708	0	0	0	0	0	0	28	604	1	13	0	0	1	5	2	239
井郷	17	504	0	0	2	24	3	114	10	146	3	210	1	41	2	51	2	328
保見	4	282	1	91	0	0	3	282	0	0	1	91	0	0	0	0	1	182
猿投	6	186	1	18	1	66	2	26	0	0	0	0	2	96	0	0	3	118
石野	4	55	2	33	0	0	1	23	0	0	2	18	1	6	0	0	1	77
松平	7	316	0	0	1	100	2	125	3	120	1	71	0	0	0	0	2	216

地区	実施回数	参加実人数	内訳（延）															
			プラス 10		栄養		野菜 350g		運動		健診 PR		フレイル		心の健康づくり		健康チェック	
			回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
下山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
藤岡	1	119	1	40	0	0	1	60	0	0	1	40	0	0	0	0	1	238
藤岡南	3	211	1	103	3	211	1	103	0	0	1	103	2	163	0	0	1	103
小原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
足助	1	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	130
稲武	1	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	120
旭	2	63	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	0	0	1	98
総計	175	7,040	17	999	18	674	27	1,892	80	2,479	22	1,376	14	608	4	136	79	8,535

地域介護予防活動支援事業

	元気アップ教室	自主活動グループ支援				
		派遣	内訳			
			フレイル	健診受診	プラス 10	野菜 350
グループ数	4	89				
派遣回数	8	232	77	55	57	30
参加者数	90	2,566	886	580	560	339

◆ 自殺対策計画推進事業

平成 31 年 3 月に策定した豊田市自殺対策計画に基づいて、特に未然防止に重点をおき、「一人でも多く自殺者を減らす」ことを目標に、市民等への啓発活動及び人材育成に努めた。

(1) 市民、事業所への啓発

ア. 自殺予防キャンペーン

集中的な啓発事業等を通じて、市民に自殺やうつ病についての正しい知識の普及啓発を行うとともに、これらに対する偏見をなくし、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいた場合の対応方法についての理解を図った。

自殺予防週間／令和 5 年 9 月 10 日～16 日

日程	方法	実績
9 月 1 日～28 日	市役所内に特設ブースを設置し、リーフレット等を配架	配布数：265 人
9 月 4 日～29 日	豊田市中心図書館に特設ブースを設置し、リーフレット等を配架	配布数：500 人

日程	方法	実績
9月25日	「とよたみよしホームニュース」へゲートキーパーに関する記事を掲載	発行数：168,350部
9月30日、10月1日	とよた産業フェスタにて、こころの健康づくりのブースを設置	来場者数：1,966人

自殺対策強化月間／令和6年3月

日程	方法	実績
3月1日～29日	市庁舎に懸垂幕を掲示、市役所内に特設ブースを設置	日数：29日間
3月1日～31日	豊田市中央図書館に特設ブースを設置し、リーフレット等を配架	配布数：198人

イ. 自殺未遂者支援

「豊田市こころの健康相談窓口カード」を作成し、医療機関、警察署、消防署、社会福祉協議会等を通じて、自殺未遂者等へ配布した。

ウ. こころの健康づくり講演会

若者が抱えるこころの問題のサインに、周りの人が早期に気づき、寄り添い、支援することができるよう、正しい知識の普及と理解促進を図った。

日程	内容	実績
11月25日	若者のこころのSOSに寄り添う ～こころの回復のプロセスと支援について～ 講師 精神科医師	68人

(2) ゲートキーパー養成研修

市民や市職員等、一人ひとりがこころの健康の重要性を認識することや、自身や周囲の人のこころの不調を始めとする様々な悩みに気づき適切に対処できるよう、家庭、地域、職場等において「自殺対策を支える人」を育成するために研修を実施した。

日程	対象	実績
6月1日～6月16日	市新規採用職員	67人
9月19日～9月29日	市職員	2,021人
12月18日	市職員（市民相談対応職員向け）	56人
7月～2月	民生委員・児童委員	176人
3月3日	薬剤師	29人

◆ 受動喫煙防止対策事業

(1) 受動喫煙防止啓発事業

とよた下町おかみさん会とのクリーンアップ活動を市民との共働で実施した。

日時	場所	内容
毎月第1金曜日 午前8時～8時30分	名鉄豊田市駅	タバコの吸殻等のごみ拾い

(2) 世界禁煙デー及び禁煙週間啓発事業

世界保健機関（WHO）が定めた「世界禁煙デー」及び厚生労働省が定めた「禁煙週間」に、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を行った。

期間	内容	場所等
5月31日	トヨタ自動車(株)、とよた下町おかみさん会、愛知環状鉄道(株)との共働による啓発活動 【活動内容】 ・クリーンアップ活動 ・啓発物等（除菌ウェットティッシュ、チラシ）の配布 ・のぼりの設置	【豊田市駅周辺】 参加者数：46人 配布数：477セット 【愛環三河豊田駅】 参加者数：28人 配布数：253セット
5月31日～6月6日	ポスター掲示及び啓発物等（除菌ウェットティッシュ、チラシ）の設置	ポスター掲示：庁内掲示板及び市内事業所等(96か所) 啓発品設置数：2,500セット
5月31日～6月6日	庁内放送・啓発物展示	豊田市役所庁舎内

(3) 禁煙治療費助成事業

禁煙を希望する市民に対して、禁煙外来治療費の一部を助成した。

年度	4	5
事前届出件数	16	29
交付件数	3	6

◆ 食育推進事業

平成28年9月に策定した第3次豊田市食育推進計画に基づいて推進事業を展開した。

(1) 推進組織

豊田市食育推進会議

会議開催なし

「健康づくり豊田21計画(第四次)」の策定により、計画に係る審議を「豊田市地域保健審議会」、協議を「健康づくり豊田21計画推進委員会」にて一体的に行うため豊田市食育推進会議を廃止した。

(2) 食の学び舎開設

ア. 親子食育講座

子どもたちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる能力を身に付けるよう、また食べ物に対する意識を高め、よい生活習慣を身に付けるために、幼児期から小学生とその保護者を対象に講話や調理実習を実施した。

年度	4			5		
コース	回数	人数		回数	人数	
		子ども	大人		子ども	大人
初級	—	—	—	—	—	—
中級	—	—	—	—	—	—
行事食	—	—	—	—	—	—
お話	—	—	—	—	—	—
子育て支援センター	19	81	81	20	135	134
その他	—	—	—	2	0	27
合計	19	81	81	22	135	161

イ. 栄養教育(出前講座)

自主サークル等地域で活動している人に対し、栄養、食生活に関する講話、相談を実施した。

年度	元	2	3	4	5
件数	13	—	2	4	7
人数	306	—	32	94	120

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

(3) 食育実践教材の作成

子どもたちが、望ましい食習慣を身につけ、豊かな人間性と健康な体をはぐくむことができるよう、カリキュラムに基づく食育実践教材を配布、販売した。

①「箸の持ち方・食事のマナーについて」ちらしを配布

対象：新入園児、小学校新入学児童(保護者向け)、中学校新入学生徒(本人向け)

②食育教材の貸出、活用 4回

(4) かみかみ運動推進

よく噛んで食べることの必要性について、体験ツール(かみかみセンサー、咀嚼チェックガム)を活用し啓発事業を実施している。

年度	3		4		5	
施設	施設数	参加延べ人数	施設数	参加延べ人数	施設数	参加延べ人数
小学校	—	—	—	—	—	—
中学校	—	—	—	—	—	—
高校	—	—	—	—	—	—
その他(自治区等団体)	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—

(5) 食育月間・食育の日普及啓発

食育の大切さを市民にPRするため、食育月間(6月)の食育の日(毎月19日)「おうちでごはんの日」を中心に啓発等を実施した。

	項目	期間	内容
1	横断幕設置	6月1日～6月30日	駅前等市内3か所設置
2	懸垂幕設置	6月8日～6月30日	市役所内1か所設置
3	市役所内PR	6月19日	庁内放送にて「毎月19日はおうちでごはんの日」をPR
4	バス車内広告掲載	6月1日～6月30日	おいでんバス全路線にてポスター車内掲載
5	イベント開催	6月4日	とよた子育て総合支援センターにて啓発

(6) 「野菜の日」啓発

8月31日の「野菜の日」に合わせ、豊田市食品衛生協会との共催により「野菜を食べよう！スタンプラリー」を開催した。

参加店舗：54 店舗 応募件数：518 件

野菜摂取測定体験会の開催 300 人

(7) 食育人材バンク

食育に関する知識や技術、経験を持つ人材を登録し、地域等からの依頼に応じて食育活動を実施した。平成30年6月に「食育応援し隊」と「人材バンク」を統合した。

食育人材バンクの募集と登録件数

食育人材バンク登録件数	21 件
食育人材バンク活用状況	活動件数…2 件、参加者数…44 名

(8) たべまるを活用した食育事業

食育キャラクターたべまるを活用し、市内全園の年長児及びその保護者に好ましい食習慣や食の大切さを伝えるために、食育啓発媒体を作成し、配布をした。

(9) 行事食の普及

食文化への意識を高めるため、子どもと大人が一緒になって行事食に触れる機会として、次の教室を開催しているが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

親子行事食教室…一回

(10) 高校生への出前食育講座

市内高校生を対象に、朝食の大切さやバランスの良い食事を理解し、自分の食生活を振り返る機会として、出前講座を実施した。

実施校数 1	全校または指定学年への講話	—
	指定学年への講話・調理実習	—
	文化祭への参加（健康づくりコーナー）	1 校

(11) 若者向け食育啓発事業

将来親になる若者が食の大切さを学び、望ましい食習慣を身に付けることや、調理を通して食に対する親しみを持つことを目的に講座を開催した。

市内高校オンライン食育授業…1 回

総合学習授業…1 校

◆ 原子爆弾被爆者援護事務

市内の原子爆弾被爆者の便宜を図るため、愛知県知事への申請の経由事務等を行った。

項目	件数
被爆者健康手帳交付申請、再交付申請	2
被爆者死亡届、葬祭料支給申請書	5
被爆者一般疾病医療機関指定申請、変更、辞退	13
被爆者医療特別手当健康状況届	—
各種手当認定申請	—
被爆者一般疾病医療費支給申請	—
被爆者一般疾病医療費一部負担金相当額支給申請	2
被爆者居住地変更届	—
被爆者介護手当支給	—
訪問介護利用被爆者助成受給資格認定申請	—
振込先口座変更届	1
交通手当金支給申請	2